

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		<b>人間ドック利用補助(後期高齢者医療制度)</b>				所管	健康部 国民健康保険課	
<b>事務事業の概要</b>	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 2 0 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区後期高齢者医療制度人間ドック(日帰り)利用費補助金交付要綱				
	事業対象	後期高齢者医療制度に加入している台東区の被保険者						
	事業目的	被保険者の疾病の早期発見・早期治療を奨励し、自発的な健康づくりと健康の保持・増進に寄与する。						
	事業内容	指定医療機関で受診した人間ドック利用料金の一部を補助する。 補助額 1人年1回 20,000円						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
<b>事務事業の実績</b>	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	受診者数	人	110	91	95	96	
	成果指標							
	決算額	(単位:千円)			1,820	1,900	1,920	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			1,602	1,704	652	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,820	1,900	1,920	
		総経費			3,422	3,604	2,572	
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			3,422	3,604	2,572			
前回評価から改善した事項	なし							
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由						
	必要性	3	疾病の早期発見及び早期治療を奨励するために重要な事業である。国も広域連合を通じて財政支援を行うことで実施を促進している。					
	効率性	3	後期高齢者医療制度開始以前は、国保の保健事業として実施しており、現在も事務処理を国保と併せて行うことにより、コスト削減を図っている。					
	手段の適切性	3	医師会との連携のもと、医療機関の指定から、申し込み、受診、補助金の支払いに至る実施方法が確立されており、事業が円滑に運営されている。					
目的達成度	3	本事業を利用した受診により、精密検査や指導の必要な方が見つかっており、疾病の早期発見・予防につながっている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
加齢に伴って生ずる心身の変化を被保険者が自覚し、自ら健康の保持増進に努める意識付けとなる。また、疾病の早期発見は医療費の適正化にもつながることから、今後も引き続き実施していく必要がある。					維持			